

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年2月7日
【四半期会計期間】	第90期第3四半期（自 2019年10月1日 至 2019年12月31日）
【会社名】	株式会社G S Iクレオス
【英訳名】	GSI Creos Corporation
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼社長執行役員 吉 永 直 明
【本店の所在の場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 窪 田 満
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区九段南二丁目3番1号
【電話番号】	東京（5211）1828
【事務連絡者氏名】	執行役員経理部長 窪 田 満
【縦覧に供する場所】	株式会社G S Iクレオス大阪支店 （大阪市中央区大手前一丁目7番31号（OMMビル）） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第89期 第3四半期連結 累計期間	第90期 第3四半期連結 累計期間	第89期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (百万円)	107,606	87,485	138,487
経常利益 (百万円)	1,460	940	1,661
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	945	827	1,152
四半期包括利益又は 包括利益 (百万円)	380	707	455
純資産額 (百万円)	19,070	19,458	18,991
総資産額 (百万円)	63,289	60,005	61,618
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	146.51	130.91	178.92
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	30.13	32.43	30.82

回次	第89期 第3四半期連結 会計期間	第90期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期 純利益金額 (円)	32.41	39.36

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に企業収益が弱含むなど先行き不透明な状況で推移し、また、海外経済は、米中貿易摩擦の影響、中国経済の減速や中東の情勢不安に起因する地政学的リスクの高まりなどにより、低迷を続けました。

こうした中、当社グループは、2021年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画で掲げた、「海外売上高の拡大」や「収益性の向上」などの重点施策に取り組んでまいりましたが、暖冬などの天候不順や低調な海外市場の影響を受ける結果となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、前年同期比20,121百万円、18.7%減収の87,485百万円となりました。売上総利益は、前年同期比610百万円、6.1%減益の9,335百万円、営業利益は、前年同期比479百万円、32.9%減益の978百万円、経常利益は、前年同期比520百万円、35.6%減益の940百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比117百万円、12.5%減益の827百万円となりました。

なお、第1四半期連結会計期間の期首から税効果会計における企業分類を変更したことなどにより、法人税等調整額を利益項目として129百万円計上しております。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### 繊維関連事業

インナー用機能糸・生地の海外販売およびパンスト・タイツ用加工糸の取引が減少しました。

中国におけるインナー製品のOEM取引は増加しましたが、婦人ファンデーションの取引は低調に推移しました。

欧米向けのアウトター用生地の取引は増加しましたが、アウトター製品のOEM取引は減少しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は、前年同期比17,237百万円、20.1%減収の68,517百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比272百万円、38.7%減益の432百万円となりました。

#### 工業製品関連事業

塗料原料の輸出取引、米国向けの化学品の取引およびフィルム関連の取引が低調に推移しました。

「環境関連事業の拡大」に向けて、前期から開始した生分解性プラスチック関連の取引が堅調に推移しました。

中国製半導体基板および機械装置の取引は減少しました。

ホビー関連の取引は増加し、化粧品原料の取引は堅調に推移しました。

以上の結果、当事業全体では、売上高は、前年同期比2,883百万円、13.2%減収の18,968百万円となり、セグメント利益（営業利益）は、前年同期比226百万円、20.9%減益の858百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の減少などにより、前期末比1,612百万円減少の60,005百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより、前期末比2,079百万円減少の40,546百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益による株主資本の増加などにより、前期末比466百万円増加の19,458百万円となりました。

#### (2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

#### (3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間における研究開発活動について、特記すべき事項はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数 (株) (2020年2月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,464,971	6,464,971	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	6,464,971	6,464,971	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日	-	6,464,971	-	7,186	-	913

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である2019年9月30日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 139,400	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,286,800	62,868	-
単元未満株式	普通株式 38,771	-	-
発行済株式総数	6,464,971	-	-
総株主の議決権	-	62,868	-

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が100株(議決権1個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式16株が含まれております。

【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社G S Iクレオス	東京都千代田区九段南二丁目3番1号	139,400	-	139,400	2.16
計	-	139,400	-	139,400	2.16

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2019年10月1日から2019年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人 保森会計事務所による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,437	13,602
受取手形及び売掛金	3 28,675	3 24,940
商品	9,195	9,894
未着商品	339	49
その他	1,138	1,182
貸倒引当金	209	191
流動資産合計	51,577	49,476
固定資産		
有形固定資産	4,466	4,410
無形固定資産	520	491
投資その他の資産	4 5,054	4 5,626
固定資産合計	10,041	10,528
資産合計	61,618	60,005
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3 24,283	3 22,209
短期借入金	13,777	14,099
1年内返済予定の長期借入金	232	173
未払法人税等	247	102
引当金	488	262
その他	2,805	2,929
流動負債合計	41,834	39,776
固定負債		
長期借入金	217	205
退職給付に係る負債	130	128
その他	443	436
固定負債合計	791	769
負債合計	42,626	40,546
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,186	7,186
資本剰余金	855	855
利益剰余金	10,998	11,572
自己株式	177	166
株主資本合計	18,862	19,448
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66	141
繰延ヘッジ損益	13	3
為替換算調整勘定	3	207
退職給付に係る調整累計額	80	72
その他の包括利益累計額合計	129	9
純資産合計	18,991	19,458
負債純資産合計	61,618	60,005

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	107,606	87,485
売上原価	97,660	78,149
売上総利益	9,946	9,335
販売費及び一般管理費	8,488	8,357
営業利益	1,457	978
営業外収益		
受取利息	42	90
受取配当金	51	57
その他	88	66
営業外収益合計	183	214
営業外費用		
支払利息	130	138
為替差損	15	32
その他	34	81
営業外費用合計	181	252
経常利益	1,460	940
特別利益		
固定資産売却益	0	0
出資金売却益	-	30
特別利益合計	0	31
特別損失		
固定資産除却損	2	0
ゴルフ会員権売却損	4	-
出資金評価損	79	-
特別損失合計	85	0
税金等調整前四半期純利益	1,374	970
法人税、住民税及び事業税	414	272
法人税等調整額	15	129
法人税等合計	429	143
四半期純利益	945	827
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	827



## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	945	827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	524	75
繰延ヘッジ損益	12	17
為替換算調整勘定	57	204
退職給付に係る調整額	5	8
その他の包括利益合計	564	119
四半期包括利益	380	707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	380	707

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

(1) 連結会社以外の会社の借入金に対する債務保証

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
日神工業株式会社	50百万円	50百万円

(2) 取引先の営業取引に関する契約履行保証

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
Milwaukee Composites, Inc.	- 百万円	505百万円

2 手形割引高

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形割引高	96百万円	70百万円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
受取手形	319百万円	275百万円
支払手形	431	341

4 資産の金額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
投資その他の資産	246百万円	291百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	211百万円	236百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月28日 定時株主総会	普通株式	225	35	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	252	40	2019年3月31日	2019年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	85,754	21,851	107,606	-	107,606
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	0	0	-
計	85,754	21,851	107,606	0	107,606
セグメント利益	705	1,084	1,790	332	1,457

(注) 1 セグメント利益の調整額 332百万円には、セグメント間取引消去15百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用 347百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維関連事業	工業製品 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	68,517	18,968	87,485	-	87,485
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	0	0	0	-
計	68,517	18,968	87,485	0	87,485
セグメント利益	432	858	1,290	312	978

(注) 1 セグメント利益の調整額 312百万円には、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分しない全社費用 321百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	146円51銭	130円91銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額 (百万円)	945	827
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	945	827
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,451	6,320

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月6日

株式会社G S Iクレオス  
取締役会御中

監査法人 保森会計事務所

代表社員 公認会計士 横山 博 印  
業務執行社員

代表社員 公認会計士 小山 貴久 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社G S Iクレオスの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社G S Iクレオス及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。